

組織向け

情報セキュリティ 10大脅威2021が決定！

発表：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

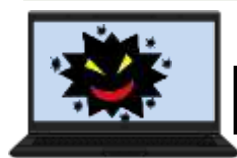
10 大 脅 威

	10 大 脅 威	昨年比較	脅威の特徴
1 位	ランサムウェアによる被害	▲	1位 ランサムウェアによる被害 ●暗号化したデータの復旧と引き換えに、身代金を要求される等のランサムウェアの被害が拡大。
2 位	標的型攻撃による機密情報の窃取	▼	
3 位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	—	2位 標的型攻撃による機密情報の窃取 ●メール等で特定組織のPCを感染させ、機密情報を窃取する攻撃が横行。
4 位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	—	
5 位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	▼	3位 テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃 ●テレワークの拡大に伴いウェブ会議サービスやVPNを狙った攻撃が増加。
6 位	内部不正による情報漏えい	▲	
7 位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	▼	
8 位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	▲	
9 位	不注意による情報漏えい等の被害	▼	
10 位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	▲	

【実際にあったランサムウェアによる被害の相談内容】

自社の共有サーバ内のデータが暗号化され、データの復旧と引き換えとして金銭の要求があった。

被害に遭う前、顧客からのメールだと信じた職員が、メールに添付されていたファイルを開いたが、実際、その顧客はメールを送信しておらず、そのメールは会社を狙った標的型メールであった。



対策

・メールの添付ファイルやリンクを安易にクリックしない

新年度が始まり、新しい環境、新体制となった職場もあると思います。この機会に、自社の情報セキュリティ対策について確認してみましょう。